

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミD	単位認定	1	片山 雅男

**【ディプロマポリシーとの関連】**

<技能・活動的領域(技能・表現)>

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

**【授業のテーマ及び到達目標】**

もりの幼稚園 — 子どもを野外につれ出そう — (自然に触れ合う保育・教育へのすすめ)

子どもたちと自然のインタープリター(仲介役)を目指して、自然とのかかわり方の基礎技術を身につける。子どもにとっての自然とのさまざまな触れ合い、自然の楽しみ方を工夫できるようになる。

**【授業の概要】**

秋から冬にかけての自然遊びや伝統行事を生かした野外活動を行い、保育への活用を考える。演習を中心に、適宜画像を交えた講義も行なう。天候や季節の状況、授業の進行上、講義順・内容の一部が変更されることがある。講義ならびに適宜アクティブラーニングも行なう。

**【全体の授業計画・内容】**

1. オリエンテーション ゼミ訪問

事前学修課題:授業に先立って、取り扱う内容についての情報収集を行なうこと。【0.5時間】

事後学修課題:保育の現場で子どもたちに各内容をどのように体験させるかを考え、まとめること。【0.5時間】

2. はじめに 保育における自然の役割を考える。

3. インタープリター入門 観察会の進め方。

4. 伝承草花あそび 笹船、シュロのバツタとトンボ作り

5. 種子の運ばれ方 種子の形態と散布様式。

6. 秋の自然観察 紅葉のからくり。

7. ミニ観察会 やってみよう観察会！

8. 木の実をつかって ドングリトトロ。

9. クリスマスと植物 リース作り。

10. 大晦日と正月の行事アラカルト 鏡餅は何故飾るか。さまざまなお雑煮。

11. 草木染め 木の実や葉で染めてみよう。

12. 燻製づくり サクラのチップで作ってみよう。

13. 節分とひな祭り 厄除け神事。ひな人形の由来。ひな祭りの日の食べ物。

14. 期末レポートの完成 学んだことを形あるものに！

15. まとめ 『魅力ある保育ナチュラリストを目指して』

**【学習のあり方】**

授業内容について、オリジナリティのある保育への活用・応用を考えること。

**成績評価**

提出物(20%)、レポート(60%)、受講態度(20%)等により評価する。

**【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】**

レポートに関して、添削指導を行う。

**【テキスト】**

テキストは使用しない。必要に応じて、プリントを配布する。

**【参考文献】**

日本自然保護協会編 『自然観察ハンドブック』 平凡社

岩槻邦男編 片山雅男・清水義和他著 『グリーンセイバー』 研成社

**【実務経験の有無】**